

# 図書館学生スタッフ 突撃インタビュー第7号

## Liss×飯野幸江

発行日:2017年2月20日  
インタビュアー:後藤 千帆  
カメラマン:孫 博文

### 本は乱読が一番



飯野幸江先生  
嘉悦大学 経営経済学部 教授  
専門は会計学

普段どのような本を読まれますか？

今は仕事の関係上、会計や経営に関する本を多く読みますね。昔から本を読むことは好きです。

学生にぜひ読んでほしい

おすすめの本はありますか？

ぜひ読んでほしい本は特になくて、私は乱読が一番かなと思っています。何でもいいので、タイトルや本の装丁、デザインなど、気になった本を手当たり次第に手に取って読んでいくと、自分の中で「こういった関係の本について読んでみたい」というのが出てくるので、私からはこれがおすすめと言うのは難しいですね。

大学生の時はどの様に

過ごされていましたか？

丁度バブル真っ盛りの時代に大学生として過ごしました。今の学生は真面目だなんて思いますね。私の大学生時代は、一つの学年に何百人もの学生がいて、授業は大きい教室で先生が喋っているだけだったので、みんな自分の興味のある科目しか出なかったですね。私は会計のゼミに入っていて、簿記検定のあった六月と十一月、ゼミの夏合宿、定期試験の前は勉強の期間で、それ以外はアルバイトや友達と旅行などをして…。他の人もそうでしたが、一年の中で勉強する時期と遊ぶ時期のメリハリがありましたね。今の学生は毎回授業に出て年中勉強しているから、その違いが激しいと思います。

最後に、学生に向けて一言お願いします

大学生というのは、たとえお金がなくても時間は贅沢にあると思います。それはとても貴重なことであって、社会人になったら生活をするために仕事をしなければならなくなって、自由に時間を過ごすというのは難しくなります。ですので、有意義に過ごさなくても良いので、今ある時間を楽しんで欲しいです。

### インタビューを終えて

初めてのインタビューでとても緊張しましたが、先生の気さくな雰囲気と共にお話も弾み、先生として、はたまた人生の先輩としてとても面白く、貴重なお話を聞く事ができました。皆様もぜひ図書館に足を運び、色々な本を乱読して興味の範囲を広げて頂ければと思います。飯野先生、貴重なお時間を頂きありがとうございました！【後藤】

